



このケーススタディは、RWS Holdings plc 傘下の SDL のクライアントと協力して作成されました



## 上海を拠点とする United Imaging Healthcare、コンテンツへの構造化アプローチを採用

[united-imaging.com](http://united-imaging.com)

業種：ライフサイエンス

本社：中国、上海

### ソリューション：

Tridion®

Trados®

Passolo®

### 課題

- コンテンツの作成、レビュー、管理で二重の手間がかかる
- コンテンツの説明に一貫性がない
- 翻訳のやり直しが必要
- 作業効率が悪化することで管理コストが上昇する

United Imaging Healthcare は RWS と連携し、同社の 100 を超える製品のテクニカルドキュメントの作成に、包括的な構造化コンテンツ管理ソリューションを採用しました。

United Imaging Healthcare は、診断から治療まで、幅広い分野の先進医療画像機器の開発と製造を手掛けています。

同社の全製品の取扱説明書とサービスマニュアルの作成を担当するのは、社内の Healthcare Technical Communication Center です。マニュアルは複数の言語に翻訳され、同社のグローバル戦略を支えています。

### 課題

コンテンツの作成は長年の間、「非構造化」作成モードで行われており、コンテンツはファイルに保存されていましたが、そのファイルもデータモデルが事前に定義されていませんでした。また、すべてのドキュメントの管理とリリースが、ほとんど手作業で行われていました。

これによって、以下のような多くの問題が発生していました。

- 同じコンテンツを作成、レビュー、管理することで二重の手間がかかる
- コンテンツの説明に一貫性がない
- 翻訳のやり直しが必要

これらの問題が重なり、無駄な管理コストや作業効率悪化の原因になっていたのです。

こうした問題に対処するため、United Imaging Healthcare は、非構造化作成モデルから構造化されたマニュアル開発モデルへ移行したいと考えました。

## 解決方法

United Imaging Healthcare はすでに、コンテンツや製品のローカライゼーションに Trados® や Passolo® を使用しており、RWS とは言語サービスで長期的な協力関係がありました。そうした RWS のソリューション、技術面での強み、専門的なサービスへの信頼が根底にあり、Tridion Docs を採用したのです。

選択は、システム機能、地域での導入支援、サポート、価格、翻訳管理機能の統合、拡張性、顧客の評価といった包括的な評価を経て決定しました。

United Imaging Healthcare が Tridion Docs を選択する決め手となった要因は以下のとおりです。

- 市場に幅広い顧客ベースを持つ実績
- 作成、レビュー、保管、公開、翻訳のための充実したワークフロー
- 翻訳管理との完全な統合
- 動的な公開オプション

つまり、Tridion Docs の採用により、同社はドキュメント制作のライフサイクル全体を管理できるようになるのです。

同社 Technical Communication Center の Guan Lei 氏は、次のように述べています。「コンテンツ戦略とドキュメントのライフサイクル全体の管理におけるトップレベルの設計を基本に、入念な分析を経たうえで、コンテンツ公開、構造化作成モデルへの転換、翻訳およびコンテンツ管理の分野で RWS との連携に踏み切りました」

さらに RWS は、熟練した地域のサポートチームが導入の技術面を支援します。この要因は、構造化コンテンツアプローチに転換した United Imaging Healthcare にとって非常に重要であり、選択条件の中でも鍵となる事項でした。

**「製品をグローバル市場で展開するにあたり、当社は高品質なテクニカルドキュメントの作成という課題に直面しました。RWS には高度なコンテンツ管理ソリューションがあるのに加え、地域のサポートチームから導入や技術面の支援を受けられます」**

**Guan Lei 氏**

United Imaging Healthcare、  
Technical Communication Center



### 導入の効果

- プロセス効率の向上
- モジュール式のコンテンツ作成によってコンテンツの一貫性を実現
- 翻訳管理機能の統合と翻訳コストの削減
- マルチチャンネルへの公開

### 結果

転換プロジェクトは次の4つの段階に分けられました。

- 準備
- 基本運用
- 上級運用
- 拡張運用

製品の選択に続き、構造化コンテンツの手法と製品をいくつかの一般的な製品マニュアルに適用することからプロジェクトは始まりました。手始めは、情報設計、コンテンツのモデリング、スタイルシートの作成、ビジネスプロセスと社内仕様の作成です。

Tridion Docsにより、市場で検証されたコンテンツの構成、作成、レビュー、保管、公開、翻訳の機能を活用して、重要課題に効果的に対処できるようになりました。

また、Tridion Docsを使用することで、制作、管理、リリース全体で構造化コンテンツを最大限に活用できます。このソリューションにより、マニュアル開発の効率は大幅に向上し、翻訳にかかるコストと時間を削減できました。さらに、製品の俊敏性とプロセスの効率性の効果で、テクニカルドキュメントのコンテンツをチャンネル全体で顧客に提供することも可能になりました。

「このプロセスでRWSのサポートを得られたことをとても嬉しく思います。今後も両社の連携を深めていきたいと考えています。」— Guan Lei氏、United Imaging Healthcare、Technical Communication Center

## ほかのケーススタディもご覧ください

[rws.com/jp/customers](https://rws.com/jp/customers)

### RWSについて

RWS Holdings plcは、テクノロジーを駆使した翻訳サービス、コンテンツ管理サービス、知的財産サービスを提供するリーディングプロバイダです。RWSは、ビジネスに不可欠なコンテンツを大規模に配信し、イノベーションの保護と実現を可能にすることで、お客様が世界中の人々とつながり、新たなアイデアを提供することを支援します。

私たちのビジョンは、グローバルインテリジェンス、深い専門知識、スマートなテクノロジーを通じて、言語、コンテンツ、市場参入における課題を解決することにより、世界中の人々と組織をつなぐ橋渡しをすることです。

当社の顧客には、グローバルブランド上位100社のうちの90社、製薬会社上位10社、世界中の大手特許事務所20社のおよそ半数が含まれています。また、クライアントベースは、ヨーロッパ、アジア太平洋、北南米に広がり、テクノロジー、製薬、医療、法律、化学、自動車、行政機関、電気通信の各分野を網羅しており、5つの大陸に複数のオフィスを構えています。

1958年に設立されたRWSは、英国に本社を置き、AIM、ロンドン証券取引所規制市場に上場されています (RWS.L)。

詳細については、[www.rws.com/jp](https://www.rws.com/jp)をご覧ください。

© All Rights Reserved. ここに記載されている情報は、RWS Group\*の機密情報および専有情報とみなされます。  
\* RWS Groupとは、RWS Holdings PLCおよびその関連会社および子会社の代表を意味します。